



# 移動体験が変わる新たな交通サービスを取り入れたMaaSの可能性

WILLER株式会社  
代表取締役 村瀬 茂高



## 新たな交通サービス（交通網の整備）

### ① 小型モビリティ TOYOTA 「i-ROAD」

駅やバスターミナルまでは公共交通で移動し、そこからi-ROADを自分で運転して自由に移動

#### 事例1) 世界遺産である知床を回遊する

- ・知床(ウトロ)までは路線バスで移動
- ・知床の観光地をi-ROADで回遊
- ・機動性や自然との一体感が知床の移動において最適



#### 事例2) インバウンドに人気の「神の子池」に行ける

- ・JR駅からの公共交通がないことを解決する



### ② オンデマンド型シェアバスの運行

旅行者の移動データを分析し、足りてない交通にシェアバスを運行することで効率的で快適な移動を提供

#### 事例3) 宿泊者が多い阿寒湖と川湯温泉を起点に、摩周湖、硫黄山、屈斜路湖、オンネトーをシェアバスで巡る

- ・交通がない所にシェアバスを運行
- ・場所と時間を補完



#### 事例4) 斜里駅とウトロバスターミナル間の増便

- ・旅行者の行動パターンに合わせた運行便の設定
- ・宿泊地を朝発～(観光時間)～宿泊地に夕方着

新たな交通サービス（退屈な移動時間に感動を提供）

## ③ 地元の食と絶景を楽しむレストランバス

車で約20分づつ離れている人気観光スポットを地元の食、文化や歴史とふれあいながら巡る

事例5) ひがし北海道の人気観光スポット  
川湯温泉、摩周湖、硫黄山、屈斜路湖を  
周遊できる観光コンテンツ

- ・車(レンタカー)がないと移動ができないエリア
- ・その地域の景観と食が連携できるコンテンツ



【レストランバス】  
2階建てオープントップバス。1階にはキッチン、2階には客席がある。

## ④ 釧路湿原をカヌーで下る/流氷を砕氷船で体験

レンタカーでは、できない感動体験  
その地域の景色や魅力をもっとも体感できる

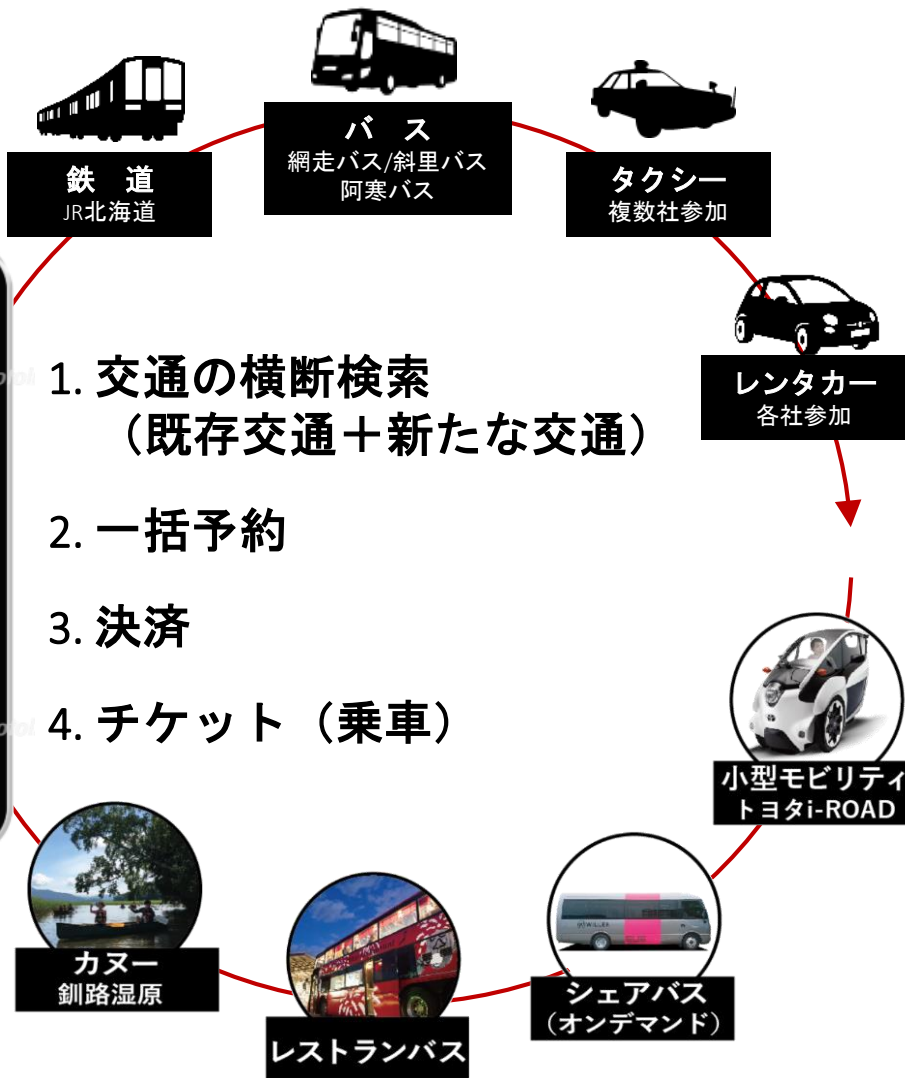
事例6) 釧路湿原をカヌーでくんだり  
移動手段として使う



事例7) 流氷を流氷船から見学



## WILLERS MaaSアプリ

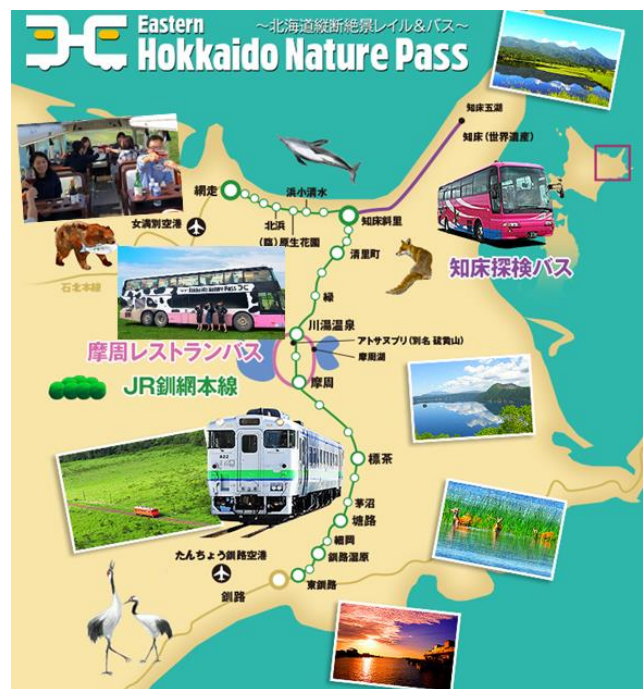


1. 交通の横断検索  
(既存交通+新たな交通)
2. 一括予約
3. 決済
4. チケット (乗車)



## 定額化したデジタル観光交通パス

Eastern Hokkaido Nature Pass 大人9,800円



① JR釧網線  
2日間乗車券  
釧路~東釧路間は根室本線

② 知床斜里駅  
発着の知床  
路線乗り放題 &  
定期観光乗車券

③ 摩周駅発着の  
レストランバス  
乗車券

- 観光MaaSは、旅行者が訪問したいと思うすべてのところに行くことができるようにすることで価値が高まる。**その意味で北海道全域で進めるのがベスト。**
- 北海道全域で始めるには、地域関係者や専門家が一体となって取り組むよう、国と北海道がリーダー役となって推進していくべき。
- ワンマイル移動の課題を解決するには、**新たな観光交通の開発が重要。**
- 地域では、**運転手不足が要因で新たなサービス創造が困難な状況。**
- 2つの課題を解決するには、実用化を前提としたオンデマンド及び自動運転の実証実験が必要。また、実用化を加速するためには、地元の自治体や交通事業者等との調整・連携を円滑に行えるよう国の助言・サポートが重要。